

ブレイクタイムズ

平成 26 年 7 月 19 日 土曜日

第 15 回家族会

・ 第 15 号 ・

BREAK TIME～ブレイクタイム～
開催いたしました!!!

平成 26 年 7 月



うだるような暑さにも関わらず、患者様、ご家族、スタッフ等を含め、計 28 名の参加人数となりました。ありがとうございました!!

第 15 回家族会では、「認知症の概要・関わり方について」というテーマで、作業療法を中心に予防を含めお話をさせていただきました。

現在の日本では認知症患者が増えて、死亡者や行方不明者の数も増加傾向です。

認知症の患者様との訓練で、私達（セラピスト）の都合に合わせ訓練を行ってしまい、関係性を築くことが困難でした。今回、認知症の関わり方をまとめていく中で、相手を理解しようとする気持ちがいかに大切なことかということを感じました。

認知症の方には、本人が安心して落ち着ける場、雰囲気作りを行い、ストレスをかけないように心がけることが大切で、それが認知症の進行を遅らせることにも繋がると思います。

いつも笑顔な方を見ると、自分もその笑顔に安心したという経験をお持ちでしょう。例え、言葉でのコミュニケーションが難しくなっても笑顔で接することが重要だと思います。

あるご家族からは「やりたいようにやらせて、できない事を少しずつ助けていってもいいのではないかと話され、すべてを背負いこまず、自らが疲れるような関わりではなく、長い目で見て関わっていくことの大切さを教えていただきました。病院内の患者様しか知らない私たちにとって、在宅で関わっているご家族のお話は貴重なものでした。

現在、山梨には 5 つの家族会があり、それぞれの地域で定期的に家族会を開催されています。認知症で悩んでいる人の意見交換の場として、参加されるのも一つの手段ではないかと思えます。

作業療法士 西平 健大
宮城 大樹